

(様式3)

事業計画書

○申請者の概要

(フリガナ) 名称(商号又は屋号)		カブシキガイシャイノハナドウ 株式会社亥鼻堂											
法人番号(13桁) (個人事業主は記載不要)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本社所在地		(〒 260 - 0856 ) 千葉県中央区亥鼻 2-2-2											
自社ホームページの URL(無い場合は「なし」と記載)		有 https://www.inohanamanzyu.com/										無	
事業者の種別 【いずれかに☑を 付してください。】		<input checked="" type="checkbox"/> (ア) 中小企業者(個人も含む) A.の主たる業種をお選びください。				<input type="checkbox"/> (イ) 中小企業者以外の法人 B.に法人の種別を記載ください。							
A.主たる業種 【次のいずれかに☑を 付してください。】		業 種		資本金の額又は 出資の総額				常時使用する 従業員の数					
		<input type="checkbox"/> ①製造業、建設業、運輸業		3億円以下				300人以下					
		<input type="checkbox"/> ②卸売業		1億円以下				100人以下					
		<input type="checkbox"/> ③サービス業 (ソフトウェア業、情報処理サービ ス業、旅館業を除く)		5,000万円以下				100人以下					
		<input checked="" type="checkbox"/> ④小売業		5,000万円以下				50人以下					
		<input type="checkbox"/> ⑤ゴム製品製造業 (自動車又は航空機用タイヤ及び チューブ 製造業並びに工業用ベルト製造業 を除く)		3億円以下				900人以下					
		<input type="checkbox"/> ⑥ソフトウェア業又は情報処理 サービス業		3億円以下				300人以下					
		<input type="checkbox"/> ⑦旅館業		5,000万円以下				200人以下					
		<input type="checkbox"/> ⑧その他の業種(上記以外)		3億円以下				300人以下					
B.法人の種別 ※申請要領 P5、イの 2 に該当する 場合は業種を記載													
常時使用する従業員数 ※常時使用する職員がいなければ、 0人と記載		8人				資本金額 ※個人事業主は 記載不要				1000万円			
担当者	(フリガナ) 職・氏名	ヤマシタコウイチ 山下幸一											
	住所	(〒 260 - 0856 ) 千葉県千葉市中央区亥鼻 2-2-2											
	電話番号 (携帯電話番号)	043-222-3333						FAX 番号		043-222-3334			
	E-mail アドレス	xxxxxxxx@xxx.co.jp											

○現在の事業とチャレンジする新事業の概要

①現在事業を行っている事業所の住所
千葉県千葉市中央区亥鼻 2-2-2
②補助事業を実施する事業所の住所(①と同じ場合は、同上と記載)
同上
③現在の事業の概要
<p>当店は創業 200 年を超える和菓子店です。2021 年度の売上 8 千万円、従業員数 8 名の老舗企業です。店は千葉市中央区にある亥鼻(いのはな)城(通称千葉城)の入り口近くにあります。当店の四季に応じて販売している和菓子は、常連のお客様に長く利用されています。また全品手作りをモットーにしており、素材は千葉県産の新鮮で美味しいものを契約農家から仕入れており地域貢献にも役立っています。</p> <p>しかしながら店主や職人の高齢化及び顧客の高齢化による客数の減少により、ここ数年徐々に売り上げを落としています。また昨今の新型コロナによる売り上げ減少も目立っており、経営の立て直しが急務となっています。</p> <p>1 年前に店主の孫にあたる金融機関に勤務していた山下幸一が取締役として経営陣に参画し、これまでの守りから攻めの経営に変革しようとしています。</p> <p>当社の強み</p> <p>創業 200 年を超えることから固定客が多く、千葉市内での知名度も高い。職人歴が長いベテラン社員が多く技術水準が高い。これまで地道に経営を続けてきたため財務状況に問題はなく無借金経営です。</p> <p>当社の課題</p> <p>現状すべて手作りでの作業及び賞味期限の短い商品が多いため生産量の拡大は見込めず、売り上げ拡大が難しい。</p> <p>朝が早く労働時間が長い等作業環境が厳しいため社員の定着率が低く、若手職人が育っていない。</p> <p>常連さんが高齢化のため徐々に減ってきており、その代替りの新規顧客が増えていない。</p>

#### ④新事業の概要

タイトル	機械化導入を図り、賞味期限の長い商品を開発しお土産市場への参入を図る
------	------------------------------------

##### ④－2新事業の具体的な内容

###### (1) 新規事業立案の背景

職人の高齢化がすすんでおり、技術の伝承と生産量の拡大が難しいという課題があり、現状の味と品質を保ちつつ省力化を図ることが必要となっています。

和菓子職人は、朝早く重労働であり。腰痛などの職業病にかかる人も多く、若者にとっては不人気の職業です。当社としてはこういう状況を克服して次世代を担う人材の確保が必要です。そのためには労働環境の改善が急務であり、機械化できる部分は機械化する必要があります。また機械化を図ることによって売り上げを拡大し給与面でも改善することができます。

###### (2) 新事業概要

これまでは全品手作りで多品種少量生産のため千葉市、千葉県の土産物商品を開発したくてもできませんでした。今回生産設備を導入することにより、名産品を大量生産できるようになります。千葉県の名産品といえば、銚子のぬれ煎餅、八街の落花生、鴨川のびわゼリーなど全国的に知名度のあるものは非常に少ない。ましてや千葉市の名産品というものはほとんどありません。当社としては千葉市、千葉県の名産品としての商品開発を手掛けます。

まずは当店が亥鼻城のそばにあることから、亥鼻まんじゅうを千葉市名物とするべく開発をしたいと考えています。そのために亥鼻まんじゅう専用の機械を導入します。

亥鼻まんじゅうの販促方法としては、千葉県内の百貨店、土産物店、道の駅などに千葉県の土産物として置いてもらいます。また毎年行われている日商・全国観光土産品連盟主催の全国推奨観光土産品審査会に出品し入賞を目指し知名度アップにつなげます。

第60回（2019年度）全国推奨観光土産品審査会入賞品74品中千葉県からの入賞はゼロ、  
第61回（2020年度）全国推奨観光土産品審査会入賞品35品中千葉県からの入賞はゼロ、  
第62回（2021年度）全国推奨観光土産品審査会入賞品65品中千葉県からの入賞はゼロ、  
3年連続で千葉県からの入賞はゼロとなっています）

### ⑤補助対象経費の概要及び新事業に補助対象経費が必要な理由

#### ○補助経費の概要

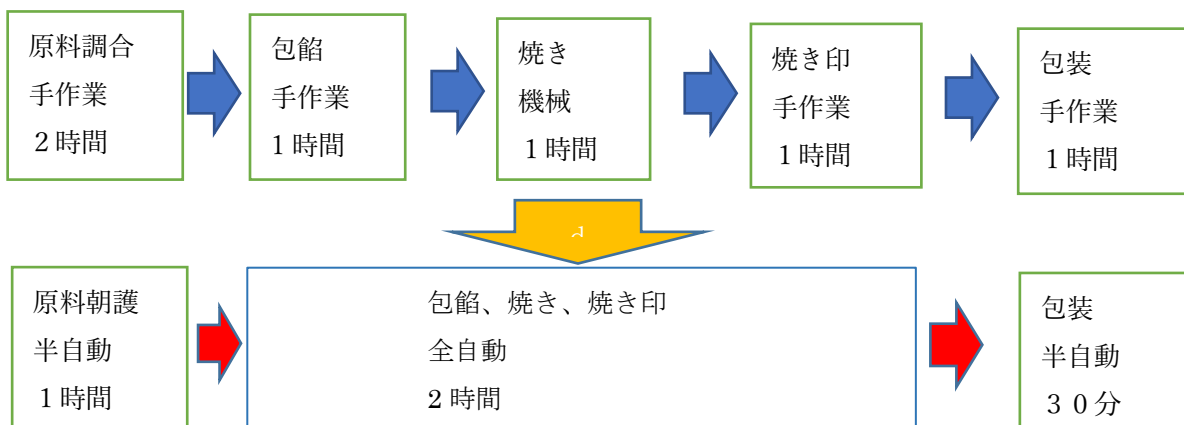
今回導入する機材については、自動たこ焼き焼成機において国内トップシェアを誇る山中製作所に、亥鼻まんじゅう製造機、餡製造機を当社の考える品質および行程に合わせてオーダーメイドで制作してもらいます。山中製作所さんの製品は省エネにも定評があり、今回導入予定の製品も省エネ性能が旧来の製品よりも格段にアップしています。

亥鼻まんじゅう製造機 860 万円	現場の再現性に定評があり、職人のこだわりや手焼きの風味など、お店独自の味を正確に再現しつつ、オートメーション化し、食材ロスを少なくするラインになっています。
餡製造機 480 万円	セラミック製で抗菌作用がある餡製造機です。菌の汚染も破損も完全防止できます。

#### ○補助対象経費が必要な理由

これまで伝統製法を守り、職人が手づくり生産してきたため、生産量に限界がある。お土産品のような商品を作るには機械化が欠かせません。

今回導入する製造装置は、当店の技術を生かしたオーダーメイドのため手づくりで生産した場合に比べての5倍のスピードで生産が可能となっている。



機械化することによって製造にかかる時間が6時間から3時間半に短縮される。更に製造量が手作りした場合の5倍になるため10倍近い効率アップが期待できます。

売上向上だけでなく、利益に関しても十分に見込めるため費用対効果の高い設備導入です。

○補助事業の効果

箱入り土産物として 1500 円から 3000 円の 3 種類を販売し平均単価 2000 円。  
初年度は 1 日 30 箱×2000 円、年間 1800 万円、年率 10%アップ、粗利益率 30%を目指します。  
順調に推移すれば新入社員の採用を行っていきます。

	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年
補助事業売上	1800 万円	2000 万円	2200 万円	2500 万円	2800 万円
補助事業利益	500 万円	600 万円	700 万円	800 万円	900 万円

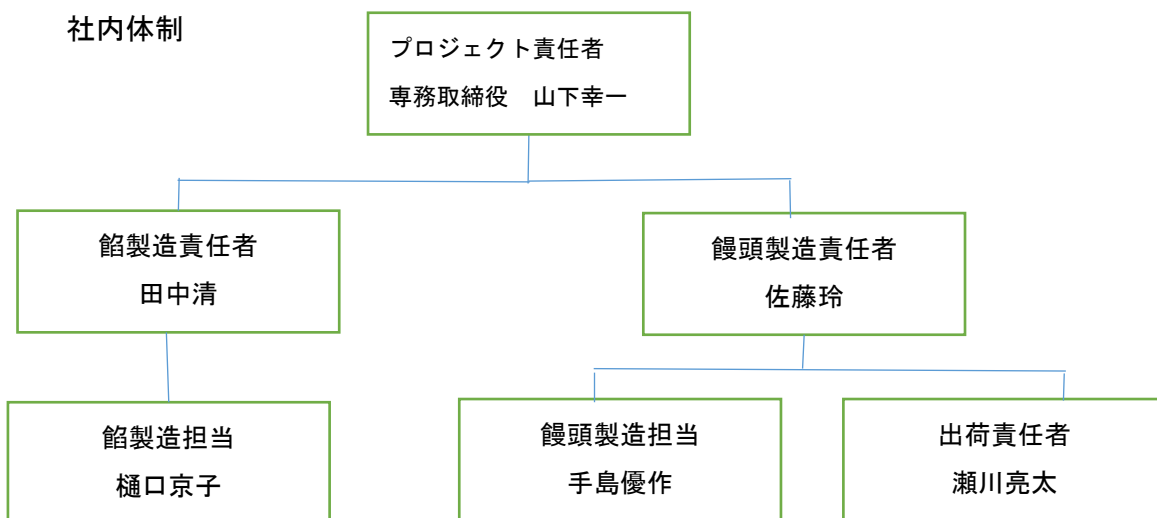
自社の売り上げ向上だけでなく、千葉市、千葉県の観光にも貢献できる地域経済の活性化に役立つ事業です。

⑥新事業の実施体制等

⑥-1 新事業実施体制

本補助事業実行のための体制

補助事業責任者及び補助金申請事務手続き担当者 山下幸一  
新事業実施に携わる従業員数 5 名










⑥-2 想定する資金調達方法

自己資金	600 万円
借入金	740 万円
その他( )	円
計	1340 万円

借入金については、当社メインバンクの千葉中央銀行本店の融資を受けられる予定です。

⑥-3実施スケジュール

11 月中には採択を前提として玄鼻まんじゅうの開発を行います。採択されましたら設備導入を行います。

	2022 年 11 月	2022 年 12 月	2023 年 1 月	2023 年 2 月	2023 年 3 月
猪鼻饅頭開発					
饅頭製造設備導入					
従業員研修					
餡製製造設備導入					
従業員研修					
試作品製造					
営業活動					

⑦その他

※前項までの事項について、特に説明が必要な部分について、記載してください。  
文章だけでなく、イメージ図、表、写真等を用いて構いません

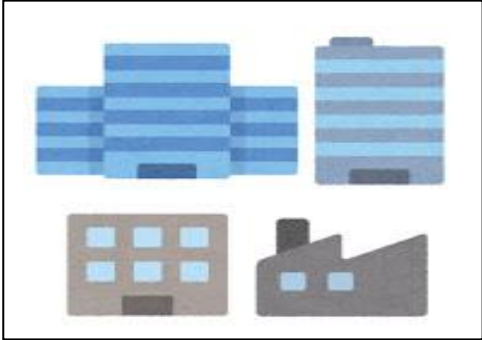
(様式3)

事業計画書

○申請者の概要

(フリガナ) 名称(商号又は屋号)		株式会社羽生工業所(カブシキガイシャハニウコウギョウシヨ)											
法人番号(13桁) (個人事業主は記載不要)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
本社所在地		(〒261-0023)千葉県千葉市美浜区海浜幕張 2-2-2											
自社ホームページの URL(無い場合は「なし」と記載)		㊟ <a href="https://www.itokougousyo.com/">https://www.itokougousyo.com/</a>										無	
事業者の種別 【いずれかに☑を 付してください。】		<input checked="" type="checkbox"/> (ア)中小企業者(個人も含む) A.の主たる業種をお選びください。				<input type="checkbox"/> (イ)中小企業者以外の法人 B.に法人の種別を記載ください。							
A.主たる業種 【次のいずれかに☑を 付してください。】		業 種				資本金の額又は 出資の総額			常時使用する 従業員の数				
		<input checked="" type="checkbox"/> ①製造業、建設業、運輸業				3億円以下			300人以下				
		<input type="checkbox"/> ②卸売業				1億円以下			100人以下				
		<input type="checkbox"/> ③サービス業 (ソフトウェア業、情報処理サービ ス業、旅館業を除く)				5,000万円以下			100人以下				
		<input type="checkbox"/> ④小売業				5,000万円以下			50人以下				
		<input type="checkbox"/> ⑤ゴム製品製造業 (自動車又は航空機用タイヤ及び チューブ 製造業並びに工業用ベルト製造業 を除く)				3億円以下			900人以下				
		<input type="checkbox"/> ⑥ソフトウェア業又は情報処理 サービス業				3億円以下			300人以下				
		<input type="checkbox"/> ⑦旅館業				5,000万円以下			200人以下				
		<input type="checkbox"/> ⑧その他の業種(上記以外)				3億円以下			300人以下				
B.法人の種別 ※申請要領 P5、イの 2 に該当する 場合は業種を記載													
常時使用する従業員数 ※常時使用する職員がいなければ、 0人と記載		22人				資本金額 ※個人事業主は 記載不要			3000万円				
担当者	(フリガナ) 職・氏名	ハニウシナイ 羽生真一											
	住所	(〒261-0023) 千葉県千葉市美浜区海浜幕張 2-2-2											
	電話番号 (携帯電話番号)	043-333-4444						FAX 番号			043-333-4445		
	E-mail アドレス	xxxxxxx@xxx.co.jp											

## ○現在の事業とチャレンジする新事業の概要

<b>①現在事業を行っている事業所の住所</b>
千葉県千葉市花見川区幕張本郷 2 - 2 - 2
<b>②補助事業を実施する事業所の住所(①と同じ場合は、同上と記載)</b>
同上
<b>③現在の事業の概要</b>
<p><b>I. 当社の概要</b></p> <p>当社は先代社長羽生長太郎が、1957年に千葉市花見川区幕張本郷に町工場として創業し、主に自動車関連企業の下請けとしてスタートしました。その後長男の羽生真一が1995年に社長に就任、美浜区海浜幕張の幕張工業団地に移転し、下請けから脱皮し独自の製品づくりを手掛けています。</p> <p>現在は自動車関連部品をメインに生産しています。</p>  <p><b>当社の強み</b></p> <p>長年、自動車関連分野で実績を上げてきたこともあり技術力には定評があります。また社員教育には力を入れてきたこともあり、技術士などの年々有資格者が増えています。</p> <p>社長の羽生真一は、幕張工業大学出身で学生当時からロボット工学を研究し続けており、その後も産学連携を図って様々な活動をしています。そのためロボット分野での知見及び技術を有しており、ロボット分野への進出が可能です。</p> <p><b>当社の課題</b></p> <p>自動車業界においてはガソリン車から電気自動車への移行が起きようとしており当社でも対応を図っていますが、将来不安が残る状況です。生き残りを図るため自動車業界以外にも製品分野を広げる必要性があります。</p> <p>新型コロナによる自動車分野での売上減少の影響もあり当社の売上はコロナ前に比べて2割ほど減少しており、昨年度は利益も出ていない状況です。この状況では人材確保もままならず、優秀な人材を確保するためにも魅力的な将来ビジョンを図ることが必要となっています。</p>



#### ④新事業の概要

##### ④-1チャレンジする新事業のタイトル

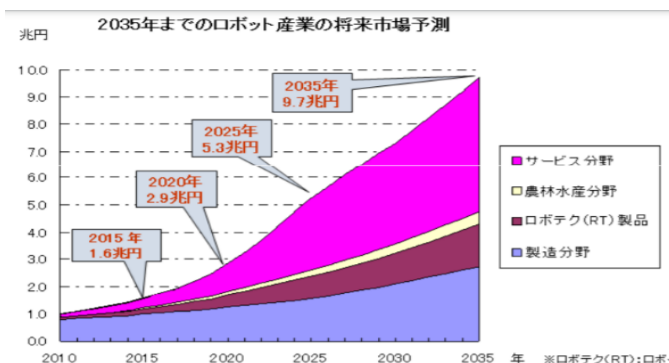
タイトル	今後急成長が期待できるロボット関連分野への進出
------	-------------------------

##### ④-2新事業の具体的な内容

###### ○本事業計画立案の背景

右図のとおりロボット分野は今後急成長が見込め、まだ成長に入った段階で十分新規参入が可能です。

特にサービスロボット分野の市場は2020年で12兆円、2035年では50兆円と4倍増が予想されています。2035年には製造分野を抜いて最も売り上げの高い分野になっていきます。



###### ○ターゲットとなる具体的な顧客

最も需要があり現在成長期に入りつつあるのが介護ロボット及びサービスロボット分野です。

介護分野は低賃金で仕事がつく常に人手不足という課題を抱えています。それを解決するためにロボットの活用が最も急がれている分野です。介護の分野で活躍が期待されるロボットには様々なニーズがあり、当社としては最も力を入れていきたい分野です。

昨年今年と新型コロナウイルスにより多大な悪影響を受けた飲食サービス業の事業者が非対面でのサービスを実現するためにサービスロボットの導入を検討するケースが増えています。

例えば配膳ロボットはすでに他の複数の企業で採用されていますが、今後は料理をするロボット（その店独自の料理を覚え再現する）、洗い物ロボット（洗うだけでなく洗い乾燥が終わったら所定の場所に置く）など様々なニーズのロボットが必要とされてくるでしょう。

当社としてはそれらの介護ロボットやサービスロボットに関する問い合わせがあった際に、最も機能的に優れて費用対効果も見込めるオーダーメイドロボットの提案ができるようにしていく必要があります。



#### ○具体的な製造プラン

すでに千葉市内に本拠地があるレストランチェーンから打診を受けており共同開発をする話がすすんでいます。

レストランなどで見かける配膳ロボットを開発する予定ですが、既存の企業で使用されている配膳ロボットを調査研究し、さらに利用者にとって利用者にとって利便性が高く安全性の高い製品を開発します。

#### ○他社との差別化

サービスロボット分野は導入期であるものの、すでに大手メーカーが数多く進出しています。当社としては大手との差別化をはかるためにニッチの分野でトップになるべく小回りの利く当社の特徴を生かして小規模飲食店向きの配膳ロボットや介護度の高い現場用の介護ロボットなどなかなか大手が手を出せない分野を手掛けていきます。

#### ○自社開発ロボットの販促方法

展示会等への積極的な参加を考えています。世界最大級の展示会が来年東京ビックサイトで2023年11月29日（水）から12月2日（土）まで開催されますので参加を予定しています。その他今年国内で行われたロボット展示会が多数ありますので、来年できるだけ多くの展示会に参加します。

#### ○SNSを活用した広報活動

当社には独自のホームページがありますが、ロボット分野においてはTwitterやTikTokを積極的に活用してPRに努めます。また社内の外国語が堪能な社員による英語などでの情報発信を強化していきます。

## ⑤補助対象経費の概要及び新事業に補助対象経費が必要な理由

### ○補助経費の概要

オーダーメイドのサービスロボットを生産するためには、既存の設備では対応できないため、小型のマニシングセンタが必要となります。また手作業で部品を加工する場合、コストが掛かりすぎて採算が合わなくなるということもマニシングセンタ導入を考えている理由の一つです。

(マニシングセンタは、自動で刃物を交換し、切削、研削等の機械加工により様々な形状を削り出すことができる NC 工作機械です。)

ロボット分野への進出は初めてなので、まずは小型のマニシングセンタを導入し、実績を積み上げた上で、将来は大型のマニシングセンタ導入を図る予定です。

### ○補助対象経費が必要な理由

オーダーメイドのサービスロボットを製造するうえで、機能、生産コストなどを考慮した場合、小型のマニシングセンタが必要なため。

小型マニシングセンタ 三菱工業製作所 1250 万円 設置費及び教育指導料金込みで 1350 万円



今回導入を予定している小型マニシングセンタは従来の機種よりも省エネ性能に優れた最新鋭機です。マニシングセンタはそれぞれの用途に応じて機種を使用するよりも1台で多機能に使用できるためその点でも省エネにつながります。

### ○補助事業の効果

配膳ロボット 1 台の販売価格は 950 万円、初年度千葉市内のレストランチェーンに 8 台納入。2 年目以降は、介護ロボットなどにも分野を広げ年間2億円、3 年目以降は毎年 20%以上の売り上げ拡大を見込みます。

販売先は、当面日本国内企業のみと考えていますが、数年後は海外への販売も視野に入れてグローバル企業を志向します。

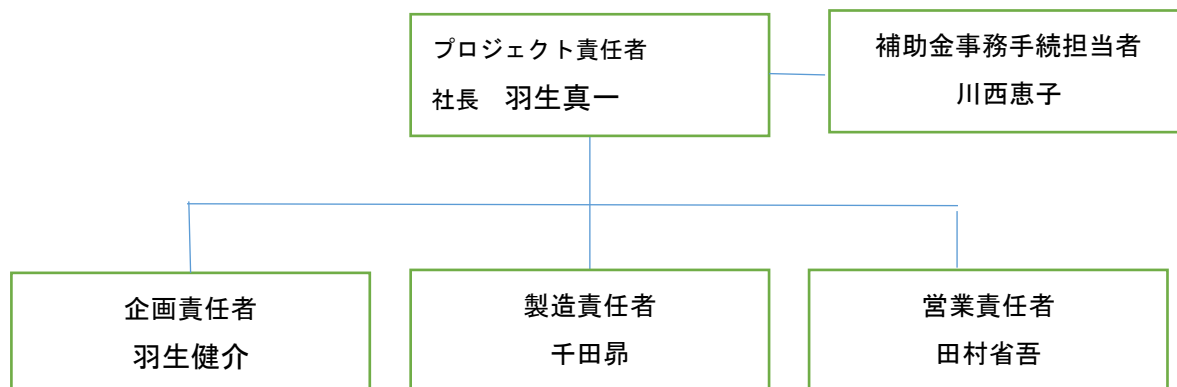
ロボット分野への進出は当社のみでなく、幕張工業団地の企業にも進出を促し、幕張工業団地が日本のロボット生産の重大拠点となるべく活動することで地域経済にも多大な貢献を図ることも考えています。

## ⑥ 新事業の実施体制等

### ⑥-1 新事業実施体制

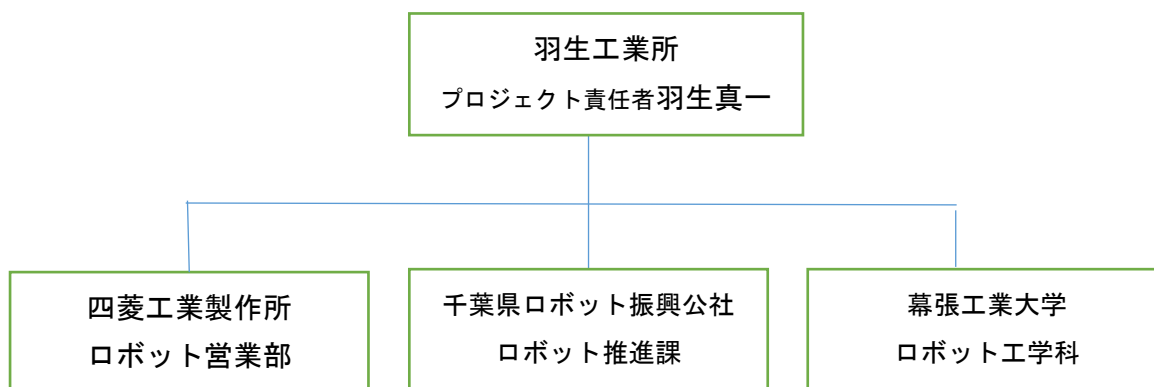
#### (1) 社内体制

三菱工業製作所との窓口は、プロジェクト責任者の羽生真一が担当します。また企画責任者羽生健介、製造責任者千田昂、営業責任者田村省吾の3名がそれぞれの部門を担当して補助事業を実施いたします。



#### (2) 社外体制

三菱工業製作所からのバックアップと共に千葉県ロボット振興公社および幕張工業大学ロボット工学科からも技術面での全面サポートを受けられる体制になっています。



### ⑥-2 想定する資金調達方法

自己資金	350 万円
借入金	1000 万円
その他( )※括弧内に内容を記載ください	円
計	1350 万円

借入金については、日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症特別貸付を予定

⑥-3実施スケジュール

取組内容	実施期間（2022年11月～2023年5月）						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
マニシングセンタの発注	➡						
マニシングセンタの納品			➡				
マニシングセンタのテスト			➡	➡			
マニシングセンタの教育指導			➡	➡	➡		
各種展示会への出展						➡	
新規顧客への営業活動						➡	➡

⑦その他

※前項までの事項について、特に説明が必要な部分について、記載してください。  
文章だけでなく、イメージ図、表、写真等を用いて構いません